

フライデー・メール

2016年12月02日

2017年をひも解く5つの投資テーマ

今年も終わりに近づき、来年の市場に注目が移るにつれて、情報に基づいた意思決定を行う投資家は、市場と経済を動かすものを理解する必要があります。ここに来年注目すべき中心的なテーマを挙げてみます。

世界の経済成長:「低水準、停滞、鈍化」

1. 米国の景気後半期に入中、日本は高齢化、欧州では英国のEU離脱(Brexit)の手続きに悩まされていることから、投資家は経済成長の停滞を予想すべきでしょう。米国と欧州は、過去最も脆弱な経済が続いているものの、最終的に景気後退を回避出来るものと見られます。新興市場は、中国の構造改革や多くのアジア各国の改革が進捗することで堅調となるでしょう。

2. 中央銀行:「長期にわたる低金利環境」

我々は、米連邦準備理事会(FRB)が緩やかに利上げを行い、新興市場の中央銀行はインフレが低下するにつれて利下げを行うと予想しています。欧州中央銀行(ECB)と日本銀行は金融緩和政策を維持するでしょう。政府支出を支えるため、中央銀行がマイナス金利政策を押し進めたことにより、世界的に流動性はピークに達したと見られます。

3. 中国は依然として注目的:アジアは全体的に魅力的

世界の経済成長に最も貢献をしているのは中国であり、急速に都市化が進むにつれて、工業用品への需要が減退する一方、石油やコーヒー生豆、砂糖、綿花、トウモロコシ、大豆といった農産品への需要の増加を招いています。しかし、貿易と投資を拡大するための「一帯一路」政策は、世界金融危機後に世界が必要とする新たなマーシャル・プランとなるかもしれません。インドとインドネシアが大幅な改革を進めている現在、アジアは成長と投資のバランスが最良の状態にあります。

4. 原油の需給は均衡へ

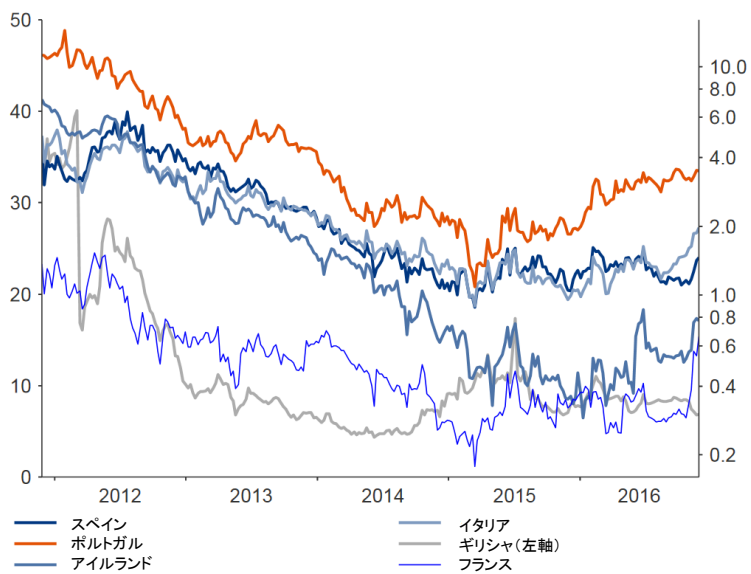
少し前に、我々は投資家に、原油安が長期間推移するとは期待しないようにと投資家にアドバイスし、我々の建設的なポジションの有効性が証明され始めました。このように低い原油価格は、工業設備投資の後退をもたらす、需要と供給のバランスを取るのを助けました。2017年は、原油価格が若干上昇すると見ており、石油セクターの投資や世界的なインフレを押し上げるものと考えていますが、米国における新たなシェールブームとまでには至らないと見ています。中東、中南米、アフリカでの緊張した地政学的状況によって供給は依然として圧迫されるでしょう。

5. 政治的トレンドに見られる変化

2016年は、規制緩和の潮流は2016年も変化が継続し、ナショナリズム、ポピュリズムは確実に根付いています。例を挙げれば、英国のEU離脱問題、ベルギーのワロン地域の問題、バーニー・サンダース氏やドナルド・トランプ氏の台頭が見られました。2017年に欧州で重要な選挙が近づいていることを踏まえれば、政治は引き続き重要な要因となるでしょう。一部の投資家には魅力的なパリュエーションにもかかわらず、特定の市場を避ける可能性もあります。金融政策は、財政支配に関する政府の明らかな政策によって従属させられるにつれて、より政治的な意味合いが強くなるでしょう。各国政府が想定する中央銀行が発行する資金の使用先としては、国内インフラと国防費が今後多くの国において中心的なものとなると考えられます。

多くの意味で、2017年は2016年と同じ様相となるでしょう。市場リターンが低い場合、リスクを十分に取れない投資家は、一般的には十分なリターンを得ることは難しいでしょう。さらに、多くの投資家が望んでいる過去に見られた長期的な業績は、もはや過去のものでしかないと思われれます。我々は景気サイクルの変化が今後1年程度で起こると見ていることから、今後は、キャピタル・ゲインとインカム・ゲイン獲得のためにはアクティブで鋭い投資方法が必要となるでしょう。

今週のチャート：
イタリア国民投票前の欧州各国のスプレッド



出所： Thomson Reuters Datastream, AllianzGI Global Capital Markets & Thematic Research。 2016年11月29日現在
過去の実績は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。

【ご留意事項】

- 本資料は、Allianz Global Investors GmbH(以下、AllianzGI GmbH)の持つ金融市場の見通し等についてアリアンツ・グローバル・インベスターズ・ジャパン株式会社(以下、当社)が作成した資料です。本資料のお取り扱いには御社内限りをお願いいたします
- 本資料は、金融市場について情報を提供するものであり、AllianzGI GmbH及び当社の戦略等の勧誘を行うものではありません
- AllianzGI GmbH と当社はAllianz SEのグループ会社です
- 本資料の内容には正確を期していますが、必ずしもその完全性をAllianzGI GmbH及び当社が保証するものではありません
- 本資料には将来の市場の見通し等に関する記述が含まれている場合がありますが、それらは資料作成時における当社またはAllianzGI GmbHの見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません
- 本資料に記載されている内容は既に変更されている場合があります、また、予告なく変更される場合があります
- 最終的な投資の意思決定は、商品説明資料等をよくお読みの上、お客様ご自身の判断と責任において行ってください
- 本資料には、当社がAllianzGI GmbHから対外秘扱いで入手した情報が含まれていますので、AllianzGI GmbHまたは当社の事前の承諾なく第三者に開示すること、当該資料の一部または全部の使用、複製、転用、配布等をご遠慮ください

アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ジャパン株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第424号

一般社団法人日本投資顧問業協会 加入

一般社団法人投資信託協会 加入